

●学内での活動

1. 教務委員会

カリキュラム等の整備や学生指導における諸問題についての提案をした。

2. 図書委員会（図書館長、委員長）

図書館備品や高額図書の購入についての決定を行なった。

3. アートを／で考えるプロジェクト（代表）

視覚文化論関連の文献の講読を行なった。

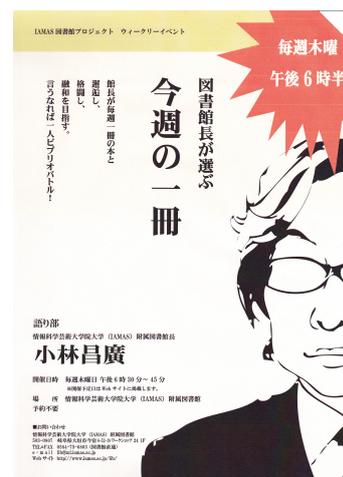
アートフルタウン大垣での展示を行なった。

修了制作展でのプロジェクト展示を行なった。

4. 図書館プロジェクト（代表）

図書館内のレイアウトを変更し、利用者の便宜をはかった。

「館長が選ぶ今週の一冊」を毎週木曜日に主催した。



学外での社会活動（公的）

1. コンソーシアム公開講座「笑いの世界Ⅲ～そして落語へ」

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜主催による公開講座を、岐阜大学サテライトキャンパス（岐阜スカイウィング 37 東棟 4 階）で十五回行なった。

2. 「館長が選ぶ今週の一冊」

IAMAS 図書館において、毎週木曜日に、主として館内所蔵の図書から一冊を選びそれについて十五分間で語るという講座を行なった。本講座は一般の利用者にも公開され、すべての記録映像は館内の PC で閲覧することも可能であり、また、第三十六回よりはストリームによる配信も開始された。

3. 「伝統芸能ことはじめ一名作から知る伝統芸能の楽しみ方」

京都芸術センター主催の講座を隔月で六回行なった。これは 2010 年度から行なわれている、主として歌舞伎劇に関する公開講座である。

4. 「IAMAS 紀要 2014」への執筆

「IAMAS 紀要 vol.6 2014」に、講義ノート「情報社会特論 B2014」（入江経一教授との共著）および評論「落語の身体論（4）『時そば』あるいは目的を失った男の彷徨ぶりについて」を執筆し投稿した。

